

事務事業分析シート（平成25年度）

No1

事務事業名	荒川マイスター表彰事業	部課名	産業経済部経営支援課	課長名	吉野
		担当者名	栗村	内線	459
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（25年度）	荒川マイスター事業(01-12-01)				
事務事業の種類	○ 新規事業（○ 25年度 ○ 24年度）		○ 建設事業	● それ以外の継続事業	
開始年度	○ 昭和 ● 平成	6 年度	根拠	荒川マイスター表彰要綱	
終期設定	○ 有 ● 無	年度	法令等		
実施基準	○ 法令基準内 ○ 都基準内 ● 区独自基準		計画区分	● 計画	○ 非計画
行政評価事業体系	分野	産業革新都市[Ⅲ]			
	政策	活力ある地域経済づくり[05]			
	施策	技術・技能承継の支援[05-06]			
目的	区内において永く同一職業に従事し高い技術と卓越した技能を習得し、それらの技術をもって後進の指導、育成に力を注いでいる者を表彰し、荒川区の産業を支える技術・技能の継承並びに後継者育成を図る。				
対象者等	【次の条件を満たす者】 1 区内在勤で同一職業に30年以上従事し、45歳以上の者 2 高い技術と卓越した技能を持ち、後進の指導・育成に積極的な者 3 荒川区文化財保護条例第2条第2号の規定（無形文化財）に基づく同条例第4条第1項に登録された荒川区登録無形文化財保持者でない者 4 上記2及び3の要件を満たし、国や東京都等が実施する同様事業（現代の名工、東京マイスター等）において表彰を受けた者				
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>対象資格を満たす者で自薦・他薦などによる応募者を候補者として、選考審査会を経て区長が決定。</li> <li>表彰者には賞状及び記念品を授与する他、表彰パネルを作成し産業展等で掲示しPR。</li> <li>平成20年4月から本庁舎1階の展示コーナー（整備は3月末）に荒川ブランドとして、マイスター製品を展示し、区内外からの区役所来訪者に荒川マイスター制度とマイスター受賞者及び製品を紹介。</li> </ul> [募 集] 7月中旬区報で募集、締切 8月末、職員による取材9月中旬、選考審査会 9月下旬 [表 彰 式] 10月下旬(サパ-ル荒川3階小ホール) [受賞者発表] 11月下旬区報、3月あらかわ産業Naviに掲載				
経過	平成 6年度	荒川区技能功労者表彰制度として発足			
	平成 7年度	J・荒川マイスター倶楽部を結成（荒川マイスター表彰者で結成した任意団体）			
	平成 9年度	荒川マイスター制度に改称			
	平成12年度	表彰式後の懇親会を休止			
	平成13年度～	表彰式を、事業者功労者表彰と合同で開催			
	平成21年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>マイスター認定基準の緩和</li> <li>①対象年齢の引き下げ（50歳⇒45歳）、②在住要件の廃止、③現代の名工等受賞者に対する年齢要件の撤廃</li> <li>マイスターPR・保存映像の作成</li> </ul>			
必要性	技術・技能の継承、後継者育成に向けた、職人のモチベーション向上の観点から必要性は高い。				
実施方法	( 1直営 ) ( 直営の場合 ● 常勤 ○ 非常勤 ○ 臨時職員 )				

予算・決算額等の推移	(単位：千円)							
	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	
予算額	558	1,955	4,533	4,324	3,156	2,860	5,430	
①決算額（25年度は見込み）	190	1,514	3,746	3,573	1,013	983	5,430	
②人件費等	1,708	4,235	4,886	3,488	3,811	3,717		
③減価償却費				1,162	1,400	1,452		
【事務分担当】（%）	20	50	60	40	45	45		
合計（①+②+③）	1,898	5,749	8,632	7,061	4,824	6,152	5,430	
国（特定財源）								
都（特定財源）								
その他（特定財源）								
一般財源	1,898	5,749	8,632	7,061	4,824	6,152	5,430	
実績の推移	事項名	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
	表彰者数	1	1	4	1	1	2	
	マイスター累計	56	57	61	62	63	65	

事務事業分析シート（平成25年度）

No2

予算・決算の内訳	節・細節	平成23年度（決算）		平成24年度（決算）		平成25年度（予算）	
		主な事項	金額（千円）	主な事項	金額（千円）	主な事項	金額（千円）
		報償費	選定委員会委員謝礼	14	選定委員会委員謝礼	21	選定委員会委員謝礼
食糧費	選定委員会委員賄い	0	選定委員会委員賄い	1	選定委員会委員賄い	1	
一般需用	バッジ、消耗品等	107	バッジ、消耗品等	156	バッジ、消耗品等	371	
役員費	表彰状筆耕料	7	表彰状筆耕料		表彰状筆耕料	10	
委託費	記念撮影等	23	記念撮影等	25	記念撮影等	332	
	伝統技術展設営委託	683	伝統技術展設営委託	630	伝統技術展設営委託	840	
	PR・保存用DVD制作	174	PR・保存用DVD制作	144	20周年記念事業	3,810	
使用料及び	会場使用料	5	会場使用料	5	会場使用料	5	

指	事務事業の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		22年度	23年度	24年度	25年度 (見込み)	目標値 (26年度)	
①							
②							
③							

(問題点・課題分析)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・若年層のモノづくり離れによるモノづくり人口の減少や後継者難、新規マイスター候補者の減少などが懸念されることから、当該制度の周知やマイスターの優れた技術・技能、製品について広く区内外に発信する必要がある。</li> <li>・優れた技術・技能を継承するためにも、販路拡大に直接繋がる施策等を講じるなど、各マイスターのモチベーションの向上を図る必要がある。</li> </ul>
他区の実況	（実施 7 区 未実施 15 区） 墨田区、江東区、葛飾区、文京区、新宿区、台東区、北区

問題点・課題の改善策		
	平成25年度に取り組む具体的な改善内容	平成26年度以降に取り組む具体的な改善内容
①	記念冊子の制作を通じ、区内外に情報発信を行う。	出来上がった冊子を活用し、PRに取り組む。
②	引き続き、各技能士組合へPRを行い広範囲に募集を行うとともに、記念冊子の制作を通じて、今後の荒川マイスター候補の募集を行う。	引き続き、マイスターに関係があると思われる業界団体にPRを実施していく。

事務事業の分類		分類についての説明・意見等
25年度	26年度	
重点的に推進	推進	本事業は、高度な技術・技能を有する職人のモチベーション向上と、技術・技能の向上、承継を図るもので、「モノづくりの街」荒川のPRや区内産業の活性化のため重要と考える。

議（要旨）	状況
-------	----

# 事務事業分析シート（平成25年度）

No1

事務事業名	インターンシップ事業	部課名	産業経済部就労支援課	課長名	村上
		担当者名	小貫	内線	466
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（25年度）	インターンシップ事業（01-06-03）				
事務事業の種類	○ 新規事業（○ 25年度 ○ 24年度） ○ 建設事業 ● それ以外の継続事業				
開始年度	○ 昭和 ● 平成 12 年度	根拠			
終期設定	○ 有 ● 無 年度	法令等			
実施基準	○ 法令基準内 ○ 都基準内 ● 区独自基準		計画区分	● 計画 ○ 非計画	
行政評価事業体系	分野	産業革新都市[Ⅲ]			
	政策	活力ある地域経済づくり[05]			
	施策	技術・技能承継の支援[05-06]			
目的	区内在学の学生に区内の中小事業所で就業体験する機会を提供し、モノづくりの現場の厳しさやおもしろさを学び、将来の就職に向けた判断基準の習得等に資するとともに、区内企業における人材確保や産学連携に寄与する。				
対象者等	区内受入希望企業、産業技術高等専門学校の学生				
内容	<p>インターンシップの受入れを希望する区内企業において、以下により学生が就業体験を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実施時期 8月中旬～9月中旬 ※夏期休業期間中</li> <li>・実習期間 連続した5日間</li> <li>・参加企業の募集 区報等により周知</li> <li>・実習生の募集 各学校からの推薦</li> <li>・保険加入 実習生の傷害及び損害保険に加入（区負担）</li> <li>・報告書の提出 終了後、企業及び実習生から報告書を提出</li> </ul> <p>※流れ                  ・参加校との事業調整 ⇒ 受入企業の募集・決定 ⇒ 参加校に受入企業の提示 ⇒ 参加校が学生と企業をマッチング ⇒ 保険加入 ⇒ 受入企業に学生を紹介 ⇒ 就業体験 ⇒ 参加校からの報告</p>				
経過	平成13年度 インターンシップ事業として独立するとともに実施規模を2倍に拡大（6人→12人） 平成14年度 実施規模を拡大（12人→20人） 平成20年度 都立荒川工業高校が都の「技能習得型インターンシップ」を実施することとなったことから、当該事業の参加校は、都立産業技術高等専門学校のみ（20人→10人） 平成24年度 就労支援課へ移管				
必要性	インターンシップは、区内在学の学生にモノづくりの現場を体験する機会を提供し、就労支援や産学連携に寄与できる事業であって必要性は高い。				
実施方法	（1直営） （直営の場合 ● 常勤 ○ 非常勤 ○ 臨時職員）				

予 算 ・ 決 算 額 等 の 推 移	（単位：千円）							
		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
予算額	611	611	611	303	303	303	303	
①決算額（25年度は見込み）	597	297	298	239	239	268	303	
②人件費等	1,708	1,694	1,629	1,744	1,694	2,749		
③減価償却費				581	622	1,291		
【事務分担量】（%）	20	20	20	20	20	40		
合計（①+②+③）	2,305	1,991	1,927	2,564	2,555	4,308	303	
国（特定財源）								
都（特定財源）								
その他（特定財源）								
一般財源	2,305	1,991	1,927	2,564	2,555	4,308	303	
実 績 の 推 移	事項名	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
	参加企業数	17	9	9	8	8	8	
	参加学生・生徒数	19	10	10	8	8	9	

事務事業分析シート（平成25年度）

No2

予算・決算の内訳	節・細節	平成23年度（決算）		平成24年度（決算）		平成25年度（予算）	
		主な事項	金額（千円）	主な事項	金額（千円）	主な事項	金額（千円）
	報償費	受入企業謝礼	220	受入企業謝礼	248	受入企業謝礼	275
	一般需用	消耗品	16	消耗品	17	消耗品	24
	役務費	保険料	3	保険料	4	保険料	4

指標	事務事業の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		22年度	23年度	24年度	25年度 (見込み)	目標値 (26年度)	
①	受入企業数	9	8	8	8	10	
②	参加学生・生徒数	10	8	9	9	10	
③							

問題点・課題 (指標分析)	実施に当たっては受入企業が固定化しているため、区内企業の意向を確認しつつ、新たな受入企業を確保する必要がある。
	他区の実況 (実施 3 区 未実施 19 区) 品川区、江東区、目黒区

問題点・課題の改善策		
	平成25年度に取り組む具体的な改善内容	平成26年度以降に取り組む具体的な改善内容
①	企業相談員や就労支援専門員等の企業巡回を活用し、新たな受入企業の参加を促す。	新規受入企業の募集を継続して実施する。
②		
③		

事務事業の分類		分類についての説明・意見等
25年度	26年度	
継続	継続	若者がモノづくりの現場を体験できる事業として意義深いことから現状規模で実施していく。

議会議事録 (要旨)	
---------------	--